

2017年 12月 5日

【コラム⑭】～ 地中海のリゾート地「アンタルヤ」～

トルコ南部の地中海沿岸に位置するトルコ屈指のリゾート地「アンタルヤ (Antalya)」。年間約 300 日も晴天に恵まれるアンタルヤは、南が美しい地中海、北がトロス山脈に囲まれた自然豊かな場所です。6～9月の平均最高気温は 30 度を超え、冬でもトロス山脈が北風を遮ってくれるため温暖な気候です。美しいビーチとして EU が認定する「ブルーフラッグビーチ」はアンタルヤにおいて、その数 200 カ所以上。また海水浴やマリンスポーツだけでなく、



登山やスキー、ゴルフ、ラフティングなど様々なスポーツを楽しめます。シーズンの 6～9 月は、特に欧州諸国からのバカンス客で賑わいます。イスタンブールからは飛行機で約 1 時間半。日本からの乗り継ぎもスムーズです。

アンタルヤは、紀元前 159 年にペルガモン王国の王アッタロス 2 世の名にちなみ「アッタレイア」と名付けられたことがその地名の由来となりました。

その後ローマ帝国、ビザンチン帝国、セルジューク朝、そしてオスマン帝国によって支配されました。旧市街入り口にある 3 つのアーチが特徴の「ハドリアヌス門」をくぐり、「カレイチ」エリアに入ると、細くて入り組んだまるで迷路のような路地が続きます。カラフルな色合いのお洒落な街並みが特徴で、また古い木造の家々は歴史情緒を感じさせてくれます。プチホテルやカフェ、レストラン、雑貨屋なども多くあるので、カレイチでゆっくりと過ごすのもお勧めです。



海水浴を楽しむなら、コンヤアルトゥビーチもしくはララビーチ。大型の高級ホテルが立ち並ぶエリアです。食事付きオールインクルーシブのホテルも多く、海水浴をしながらホテルのプールやバーでホテルライフを楽しむのもいいですね。

アンタルヤ近郊には日帰りで行ける観光スポットがたくさん。数ある観光スポットからいくつか紹介します。

アスペンドス (Aspendos)・・・アンタルヤ中心地から約1時間の場所に位置するローマ時代の円形劇場です。保存状態が良いことで知られ、舞台の背後にある壁まで残る劇場は世界でも類を見ません。約2万人が収容できたといい、約800m×500mの広さを誇る劇場は圧巻。毎年夏には「アスペンドス・オペラ・バレエ・フェスティバル」が開催されています。国内外からオペラ・バレエ団が集まり、今年は「アイーダ」など有名な楽曲の公演もされました。



サガラッソス遺跡 (Sagalassos)・・・標高約1,700mに位置し、「天空の神殿」とも呼ばれる遺跡です。アンタルヤから約2時間、世界でも有数なダマスクローズの産地「ウスパルタ (Isparta)」の近郊であるブルドゥル (Burdur) に位置します。その起源は約1万年前に遡り、壮大な山々の景色の中にある遺跡はまさに幻想的です。一番の見どころはニンフィウム (泉)。ほぼ完全な状態で残っており、中央部分からは現在も山水が流れています。かつての図書館の床全体には美しいモザイク画も残っています。遺跡全体の約25%しか発掘されておらず、これからが期待できる遺跡です。

リゾートやスポーツ、遺跡巡りなどいろいろ楽しみたいという方、ぜひアンタルヤで過ごしてみてくださいね。12月10日(日)12:00~12:54、BS-TBS局にて放送される「トルコ大紀行」エピソード4にアンタルヤも紹介されます。是非ご覧下さい。

トルコ共和国大使館・文化広報参事官室広報代理店
株式会社フォーカス